

令和元年度 地域座談会で寄せられた要望・意見・提案の対応方針等

【店屋場地域集会施設】店屋場自治会

要望等 受理年度	No	テーマ	要望・意見・提案の内容	所管課	対応方針等
H30	1	自治会のあり方について	役員の担い手不足や会員の高齢化により、自治会の存続が危ぶまれる。まつりやソフトボールへの参加者は、役員とその知り合いのみである。自治会が組織として成立しなくなった場合、町も防災面やごみ回収場所の管理など、今まで通りに出来なくなることが多くなるが、この状況をどのように考えているか。	総務課	91.24%と加入率は徐々にではありますが、減少傾向にあります。近隣市町村に比べ高い水準にはありますが、今後、加入促進を進めていく必要性は非常に感じています。特に若い世帯の未加入世帯が目立ってきているように思え、加入することにより役員や事業に参加することをデメリットと考え、加入に消極的になる傾向にあります。昨年度から転入者に対して加入促進のチラシを配るようしており、今後は広報や町公式サイト等により災害時の初動時は自治会が中心となることなど、メリットを情報提供を推進し、加入促進を第一に考え町民参加型の自治会及び町政運営となる必要と感じます。 また、本年5月より自治会配達全戸配布を月1回とし、月2回発行していたおしらせ号を月1回とし、広報まつだに情報コーナーとして掲載することとしました。今後も、自治会の負担軽減に努めてまいります。
H30	2		役場職員の町内在住の割合はいかほどか、また、自治会の加入率はいかがか。	総務課	上記同様
R1	3	店屋場公園・中丸公園間の ピョンピョン橋上流にある 中洲の除去について	台風19号で流木が多くあったところも50センチほど上がっているが、今後19号並みの台風が日常になるような気候変動が考えられるため、なるべく河床を下げておいていただきたい。県で河床を整備しているが、底を掘るのではなく脇を平らにしているだけで、水量を多く流すことにはつながっていない。 特に、ピョンピョン橋は店屋場や大井町の方は通勤・通学に使っているため、土砂・流木がたまっていると自治会役員がきれいにしているが、今回の台風のような状況になると我々の力だけでは厳しいのでそういったこともお願いしたい。	観光経済課	県西土木事務所に確認したところ、籠場橋周辺の河床整備については、本年度は東名高速道路の川音川橋から上流150mで実施することとした。 今後も台風等により通行ができない状況になった場合には県西土木事務所に対応を依頼し、併せて河床を少しでも下げてもらいたいと考えています。